

# 小施策評価シート (平成 27 年度実績評価)

施策コード	29	施策名	都市間交流の促進	
小施策コード	29-2	小施策名	地域間連携の推進	
小施策 主管課等コード	123000	小施策 主管課等名	企画調整課	
評価責任者名	小川 秀樹	内線番号	3810	
評価シート作成者名	藤澤 法輝	内線番号	3811	

## Step 1 小施策の全体像

### 小施策の概要等 (構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり)

現状と課題	<p>住民の日常生活圏や産業活動の広域化とともに、全国的に地域間競争が激しくなっていることから、日常生活圏を共通する盛岡広域圏や歴史・経済的に関係の深い沿岸地域などと連携を深めることによって、競争力のある産業の振興や生活の質の向上を図り、より住みよい地域を構築していく必要がある。</p> <p>また、沿岸地域は東日本大震災からの復興が課題となっていることから、復興に向けて連携した取組を進める必要がある。</p>
取組の方向性	日常生活圏を共有する盛岡広域圏の一体的な発展とともに、歴史・経済的な関係の深い沿岸被災地の復興に向けて、関係自治体との連携を図る。
対象 (誰(何)を対象として行うのか)	市民, 連携市町村, 連携事業に関連する事業者
意図 (対象をどのようにしたいのか)	都市間の連携した取組が活発になり、市民の生活文化の質の向上やまちのにぎわいにつながる。

## Step 2 成果指標の推移

(↑: 数値を上げていくことを目標とする指標, ↓: 数値を下げていることを目標とする指標, →: 数値を維持することを目標とする指標)

指標項目	単位	25 年度 実績 (現状値)	27 年度 実績	31 年度 目標値	36 年度 目標値
A にぎわいや産業振興につながる自治体連携の取組数 (↑)	件	6	6	9	12
B ( )					
C ( )					

### Step 3 市民ニーズの把握

盛岡市まちづくり評価アンケート結果によると、「都市間の交流が盛んになり、まちのにぎわいを生む取り組み」については、11.4%の市民が満足している一方で、54.6%の市民が「今後の取組が重要」としている。

### Step 4 役割分担分析

#### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の役割の状況	市	盛岡広域圏における経済成長のけん引や高次都市機能の強化、生活関連機能サービスの向上などに資する諸施策の展開について、盛岡市が中心的な役割を担うこととしている。	50
	国・県・他自治体	盛岡広域圏首長懇談会における、広域圏の一体的な発展へ向けた諸施策の展開について、意識を共有しながら、事業の共同実施を進めてもらう必要がある。	35
	市民・NPO		
	企業・その他	特にも、経済成長のけん引に資する具体の連携事業を実施するに当たり、共同で取り組んでもらう必要がある。	15

#### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

盛岡広域市町圏における広域連携については、市が中心的な役割を担うこととしているが、他自治体との連携を深め、共通の課題認識のもと、競争力のある産業の振興や生活の質の向上を図り、より住みよい地域を構築していく必要があるため、現状維持とするもの。

## Step 5 成果・問題点の把握と改革改善案

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策の中で成果をあげた点

- ・ 平成・南部藩交流事業において、交流市町間の交流が行われた。
- ・ 連携市町と連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結するとともに、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定した。

#### (2) 成果をあげた要因

- ・ 盛岡市長、青森県南部町長、山梨県身延町長が、一日国替えとして相互に訪問、交流を行った。
- ・ 盛岡広域首長懇談会における検討・協議を経て、本市が連携中枢都市宣言を行うとともに、圏域の市町と連携協約締結に向けた取組を進めた。

#### (3) さらなる成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

連携の強化を図るため、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」に掲げる事業を推進する必要がある。

### 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策における現状の問題点

連携協約を締結した市町との具体的な取組は、平成 28 年度以降本格的に実施される見込みであること。

#### (2) 現状の問題点が生じている原因

事業実施における財源の確保や事業実施の方向性が定まっていない事業があること。

#### (3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」に基づく取組を確実に実施できるよう体制を整備するとともに、財源を確保する。

### 3 改革改善案（上記 1 (3) 及び 2 (3) で設定した課題に対する具体の取組）

圏域の市町との連携を強化するとともに、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」に掲げる事業を推進するための予算を確保し、実施することにより、圏域の課題を克服し、圏域に新たな価値や魅力を生み出す。

## Step 6 小施策と構成事業の関係性

### 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

該当事業なし。

### 2 1 で記載した事業についてその理由

### 3 1 で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）